



「勧進帳」の熱心な演技指導
(平成24年4月、こまつ芸術劇場うらら)

葛西聖司氏

全国子供歌舞伎フェスティバルやお旅まつりでお馴染みの古典芸能解説者としても有名な葛西聖司氏。30年以上に及ぶご縁で「歌舞伎のまち」の魅力発信にご尽力をいただき、令和元年には「こまつ曳山交流館みよっさ」名誉館長に就任いただいております。



ユーモラスに聴衆を惹きつけるお旅まつりの解説
(平成16年5月、JR小松駅前)

12代目市川團十郎丈

12代目市川團十郎丈には、昭和62年に開催された勧進帳小松八百年祭での小松勧進帳公演以来、長きにわたり歌舞伎文化の振興と子供役者の指導にご尽力をいただきました。

感謝!

「歌舞伎のまち」に思いを寄せて
格別のお力添えをいただきました



北陸を代表する春まつりとして知られる「お旅まつり」。
見どころの「曳山子供歌舞伎」は「歌舞伎のまち」と呼ばれる理由の1つ。

曳山250年 みんなの力で継承

伝統ある曳山子供歌舞伎は、平成28年に250年の節目を迎えました。江戸後期に十基あった曳山は、昭和の大火で二基が焼失したため、現在は八基の曳山を舞台に、毎年2つの町が持ち回りで上演しています。私たちは、先人の時代から曳山子供歌舞伎への理解を深め、令和の時代に至るまで伝統を継承してきました。引き続き、曳山八町の努力に敬意を表し、歴史的な遺産を協調して守ることは私たちの使命と言えます。絢爛豪華な曳山を舞台に、一心に演じる子供たちの姿。美しく愛おしいこの情景は時代とともに進化を遂げてきました。令和の時代にも私たちの手で磨き上げていきましょう。

平成11年から続く 全国子供歌舞伎の祭典

全国から子供役者が集まり、口上と演目を披露する「全国子供歌舞伎フェスティバルin小松」。市民の皆さんからの提案を元に企画され、平成11年の初回から途切れることなく毎年開催されています。平成16年(第6回)からは会場をこまつ芸術劇場うららに、平成24年(第14回)には開催日が5月の連休期間中になりました。加えて、令和元年(第21回)からは、来訪する外国人にも分かりやすく伝えるため、「日本こども歌舞伎まつりin小松」に改称されています。「歌舞伎のまち」の中核を担う催事として、新たな企画内容や演出が期待されています。



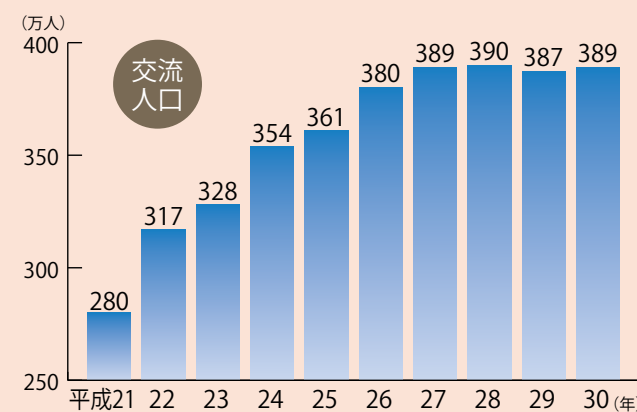
曳山250年記念制作「曳山八基祝い唄」手拭い



曳山250年記念制作の絵本「りょうたのひきやま」



市川新蔵氏(右)が指導する稽古風景



平成を知る直近データ「交流人口」

交流人口
平成21年 280万人
平成30年 389万人
1.38倍

9年前に比べ、交流人口は1.38倍に増えました。歴史・文化以外にも、ものづくり、スポーツ、自然に関する分野での交流がますます広がっています。